

子育て家庭と区長のタウンミーティング（子育てカフェ）で寄せられた主な意見
テーマ：子育て家庭にとって住みやすいまち
（2025年6月7日開催分）
保育や教育に関すること
区立小学校に情緒学級を常設してほしい。 現在実施している特別支援教室では時間が足りていない。
かみさぎ小学校に特別支援学級を作してほしい。
子どもが成長したり、きょうだいが増えるにつれ、教育環境を求めて他地域へ転居する家庭が多い。 就学後の支援の強化など、子育てのしやすいまちにしてほしい。
熱中症のリスクを軽減するため、学校のプールにおける暑さ対策に力をいれてほしい。
子どもの登校時の見守りについては、現在保護者も協力して行っているが、人手が足りていない。見守りの人数を増やしてほしい。
公園や道路など、まちづくりに関すること
中野駅にエレベータがなく、ベビーカーの使用が不便であるため、早く設置してほしい。
区内すべての地域で様々な年代の子どもが、安全に楽しめるような遊具を設置してほしい。
公園のトイレのドアが重く、使いにくい。 小さい子どもでも使いやすいように軽量化を進めてほしい。 また、冬はトイレの便座を温かくしてほしい。
公園にスケートボードやローラースケートができるようなコンクリートスペースを充実させてほしい。
公園にバスケットゴールを設置してほしい。 今はバスケットボールをするために、他区の公園を利用している。
自転車で車道を走る際に危険を感じることが多い。 自動車と自転車が走行するところを、色分けするなど視覚的にわかりやすくしてほしい。
車通りの多い場所は車両の速度を抑制するため、走行車線を蛇行させるように設計するなど、安全対策を講じてほしい。
公園や道路の樹木が長くなりすぎて、見通しが悪くなっている場所があり危ない。定期的な剪定をしてほしい。

子どもの遊び、体験、学びの機会に関すること
上鷲宮小学校、武蔵台小学校など、体育館の開放を行っている施設を増やしてほしい。
地域によってはどこの図書館も遠く、気軽に利用できない。
放課後や休日に子どもの居場所となるような施設を増やしてほしい。
放課後等デイサービスの受け入れ枠が少なく、利用したくてもできないことがある。また、発達支援の必要な中高生が登録なしでも一時的に放課後等デイサービスを利用できるようにしてほしい。
その他
不登校児への支援を充実させてほしい。
保護者同士の関係を構築する場が少なく、情報共有や相談がしづらい状況にある。保護者同士が交流出来る場を提供してほしい。
地域全体で発達支援が必要な子どもへの理解を深められるような取り組みを充実させてほしい。
多胎児家庭支援事業を充実させてほしい。
特別支援学校の進学、通学にあたって保護者が学校を選ぶ自由があることは評価している。